

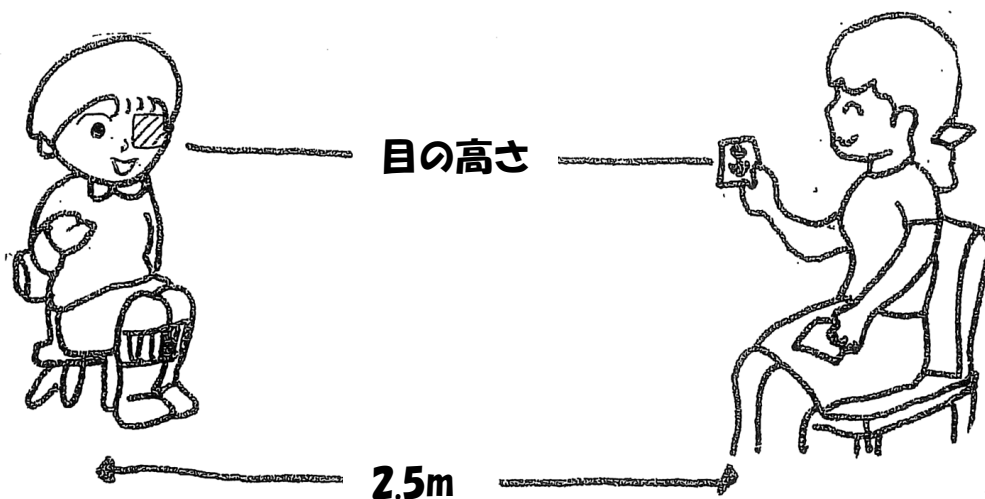
3歳児視力検査のお知らせ

必ず自宅で検査を行い、結果を記入して3歳児健診の日にお持ちください。

3 歳 児 の 視 力

子どもの眼は、生まれた時にはまだ未熟で視力も弱いのですが、6歳くらいまでにどんどん発達して大人並の視力になります。ところが、遠視や斜視などが原因で、視力の発達がとまると弱視になることがあります。片目の弱視があっても子どもは何も言いませんし、また生活には不自由がないようにみえます。異常がある場合は、なるべく早く発見して正しい治療をすることが大切です。子どもが小さいうちは視力をはかるのは難しいのですが、3歳になれば視力検査ができるようになりますので、はかってみてください。

3歳で0.5が見えれば視力に問題はありません。



視力検査の方法

【検査の時に注意すること】

- ① 楽に本が読める程度の明るい部屋で検査をして下さい。
- ② 絵視標の高さは子どもの眼の高さに合わせて下さい。
- ③ 片目ずつ検査をします。目かくしはきちんとセロハンテープではって、のぞかれないようにして下さい。

【用意するもの】

ティッシュペーパー・セロハンテープ・絵視標（練習用・検査用）

はさみ・アンケート用紙・鉛筆またはペン

※絵視標は線に沿って1枚ずつ切り離して使用します。

【練習しましょう】

- ① 近くで練習用の絵視標を見せて、1枚ずつ絵の名前を教えます。
（例えば、「鳥」は「チュンチュン」など呼びやすい言い方でも結構です。）
- ② 絵の名前が確認できたら、お子さんから2.5m離れて練習用の絵視標を1枚ずつ見せて、絵の名前が正解するか確認してください。

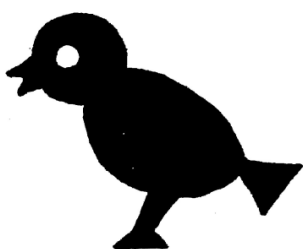
【検査をしましょう】

- ① 右眼から検査します。ティッシュペーパーを適当な大きさに折って、左目が全部隠れるようにセロテープではって下さい。
- ② 検査をする人は、お子さんから2.5m離れて検査用の絵視標を1枚ずつ見せます。
- ③ 絵の名前を聞き、正解したらアンケート用紙に○をつけて下さい。
- ④ 右眼と同様に左眼を検査します。

【検査がうまくできない時】

一度検査をしてうまくできなくても、何回か繰り返すとだんだん慣れて上手にできるようになります。日を変えて検査をしてみましょう。

練習用繪視標







檢查用繪視標



お子さんの目に関するアンケート

お子さんの氏名 _____

★ 検査の結果、見えたものに○、見えないものに×を記入してください。

				
右				
左				

★ 次に該当することがあれば○をしてください

1. 目が内側に寄ることがある。
2. 目が外や上にずれることがある。
3. テレビを近くで見るか、離れると見にくいようだ。
4. ものを見る時、顔をしかめたり、目を細めたりする。
5. ものを見る時、頭を傾げる。
6. 顔を回して横目でものを見る。
7. 上目使いで見る。
8. 明るい戸外で片目をつむる。
9. まぶたが下がっている。
- 10.じっと見ている時に、目が揺れる。
- 11.うす暗い所に入ると、いつまでも目が慣れず動きがにぶい。
- 12.瞳（黒目の中央）が白っぽく見えることがある。
- 13.黒目の大きさが左右ちがう。
- 14.今までに眼科にかかったことがある。

（ いつ頃 _____ 病名 _____ ）

- 15.その他、目について心配なことがある。

（ _____ ）

.....以下は記入しないでください.....

（ 年 月 日 ）

●異常なし

●要再検査（フォロー健診・健康相談・訪問・その他（ _____ ））

●要精密検査

●検査せず